

TPM-TPMS

トリガーツール取扱説明書



TPMS(タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム)

タイヤプレッシャーセンサに内蔵されているバッテリーが消耗して交換した場合、センサの不良で交換した場合、タイヤローテーション後、スタッドレスタイヤに交換後等にセンサの登録が必要になります。

今の所、エルグランド(E52)、GT-R(R35)のみの搭載ですが、今後新型車に搭載されてくる事が予想される大事なシステムです。



LOW BAT インジケータ

電池残量が少なくなると、赤色 LED で点灯します。

TX インジケータ

オレンジ LED が点灯します。この時電波を発信しています。

ON ボタン

バルブセンサーを起動させ、電波を発信します。

OFF ボタン

バルブセンサーが起動中の時に休止させます。

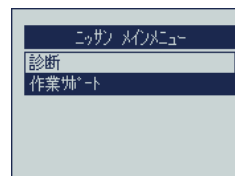
電池ボックス

「LOW BAT」のインジケータが点灯したら、ここで 9V 電池を交換して下さい。

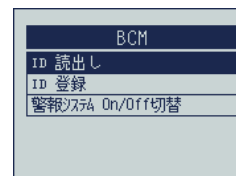


ここでは、TPM1000 を使用して、TPMS(タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム)の登録方法について説明いたします。

01 「作業サポート」を選択し実行します。



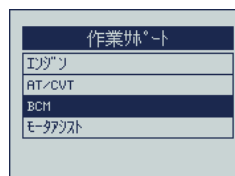
04 「ID 読出し」を選択し実行します。



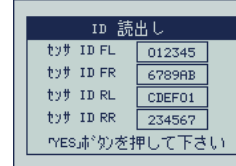
08 タイヤ空気圧モニタについての説明が表示されます。

新車や送信機交換後等で空気圧が0(未充填)と認識している場合、送信機が起動していない可能性があります。アクティベーションツールを使用して送信機を起動してください。「YES」ボタンを押して下さい。

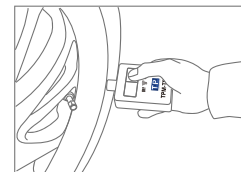
02 「BCM」を選択し実行します。



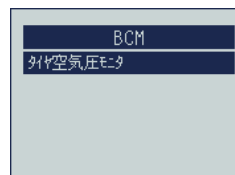
05 「ID 読出し」画面に現在のIDが表示されます。



09 TPM-TPMSを各タイヤのバルブ付近に近づけ起動させます。



03 「タイヤ空気圧モニタ」を選択し実行します。



06 「ID 登録」を選択し実行します。



10 画面に表示されている順番で、登録を行ってください。



07 「注意」が表示されます。

注意!
「YES」を押すと全車輪のIDが消去されます。
ID登録を完了するためにはアクティベーションが必要で

11 登録が完了すると、下の画面が表示されます。

